事業所向けアンケート調査設問及び選択肢一覧（案）

資料2-2

番号	設問項目	該当する目標	区民の類似設問	前回調査時に類似内容あり
Q1	貴事業所が、区に強化してほしい施策は何ですか。（3つまで）	全般（課題認識・将来像	Q2	
	1. 再生可能エネルギーの普及			
	2. 建物の省エネ促進			
	3. 夏の暑さや熱中症対策			
	4. ごみの減量やリサイクルの促進			
	5. 食品ロス対策の強化			
	6. 使い捨てプラスチックの削減やリサイクルの促進			
	7. 従業員の健康や快適性を重視した職場環境の改善			
	8. 環境に関する情報や環境について学ぶ機会の拡充			
	9. 強化してほしい施策は特にない			
	10. その他（自由記述）			
Q2	貴事業所では、地球温暖化対策（脱炭素に向けた取組等）にどの程度取り組んでいますか。（1つ）	地球温暖化対策		○
	1. かなり取り組んでいる			
	2. ある程度取り組んでいる			
	3. あまり取り組んでいない			
	4. 取り組んでいない			
	5. わからない			
Q2-1	1.または2.と答えた方に伺います。（1つ） 貴事業所が地球温暖化対策（脱炭素に向けた取組等）に取り組む主要な理由は何ですか。（3つまで）	地球温暖化対策		○
	1. 電気代・ガス代など光熱費の削減			
	2. 事業継続力（BCP）の向上			
	3. 企業イメージ・ブランド価値の向上			
	4. 取引先・顧客からの評価向上			
	5. ESG・サステナビリティ対応			
	6. 従業員の健康・快適性の向上			
	7. 人材採用・定着への好影響			
	8. 新たなビジネス機会の創出			
	9. 法規制・制度変更への備え			
	10. 特に理由はない			
	11. その他（自由記述）			
Q3	貴事業所で導入している再エネ・省エネはどのような取組ですか。（あてはまるものすべて）	地球温暖化対策	Q5	○
	1. 再生可能エネルギー電力を契約している			
	2. 再生可能エネルギー発電設備（太陽光発電設備）を導入している			
	3. 省エネルギー機器等（業務用高効率給湯機器や断熱窓等）を導入している			
	4. 再エネ・省エネの取組に関心はあるが、導入していない			
	5. 導入していない（今後も導入するつもりはない）			

番号	設問項目	該当する目標	区民の類似設問	前回調査時に類似内容あり
Q3-1	「4. 再エネ・省エネの取組に関心はあるが、導入していない」または「5. 導入していない（今後も導入するつもりはない）」と答えた事業所に伺います。 貴事業所で①再生可能エネルギー電力を契約していない、②再生可能エネルギー発電設備や省エネルギー機器を導入していない理由は何ですか。（①、②それぞれあてはまるものをすべて）	地球温暖化対策	Q5-1	○
①再生可能エネルギー電力を契約していない理由				
	1. 導入するメリットがよくわからないから			
	2. 現在契約している電力会社のほうが安心できるから			
	3. 電気料金が高くなりそうだから			
	4. 手続きの仕方がわからないから			
	5. 手続きが面倒だから			
	6. どの電力会社を選べばよいかわからないから			
	7. 入居しているビル等で一括受電（契約）しており変更できないから			
	8. 電力会社や費用などの情報が不足しているから			
	9. 興味・関心がないから			
	10. 今後、近いうちに導入する予定があるから			
	11. 人手が足りないから			
	12. その他（自由記述）			
②再生可能エネルギー発電設備や省エネルギー機器を導入していない理由				
	1. 初期費用が高いから			
	2. 設置後の管理費用がかかるから			
	3. 設置しても十分な発電量や省エネ効果が期待できないと思うから			
	4. 設置できる場所がないから			
	5. 導入するメリットがよくわからないから			
	6. 事業所を賃貸しているため、自身の判断のみで設置できないから			
	7. 設置を依頼する業者、費用などの情報が不足しているから			
	8. 補助金・助成制度がわかりにくい、または利用しにくいから			
	9. 興味・関心がないから			
	10. 今後、近いうちに導入する予定があるから			
	11. 人手が足りないから			
	12. その他（自由記述）			
Q4	区からどのような支援があれば、貴事業所が再生可能エネルギーの導入に取り組みやすくなると思いますか。（3つまで）	地球温暖化対策	Q6	
	1. 補助金			
	2. 制度や手続きの説明			
	3. 導入事例の紹介			
	4. 専門家への相談			
	5. オーナーとの調整支援			
	6. 共同調達・共同購入			
	7. 融資や金融支援の情報			
	8. 特にない			
	9. その他（自由記述）			
Q5	区では、2050年までに区内のCO_2排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ新宿」の実現に向けて取り組んでいます。 「ゼロカーボンシティ新宿」の実現に向けた区の姿勢として、貴事業所が最も期待するものを選択してください。（1つ）	地球温暖化対策	Q8	
	1. CO_2排出削減に向けた取組（例：省エネ、再エネ等）を重点的に推進			
	2. CO_2吸収増大に向けた取組（例：カーボン・オフセット、J-クレジット等）を重点的に推進			
	3. CO_2排出削減及び吸収増大に向けた取組の両方を推進			
	4. その他（自由記述）			

番号	設問項目	該当する目標	区民の類似設問	前回調査時に類似内容あり
Q6	貴事業所では、事業活動の中で、ごみ減量・資源循環・食品ロス削減・プラスチック削減の取組をどの程度行っていますか。（1つ）	資源循環		
	1. かなり行っている			
	2. ある程度行っている			
	3. あまり行っていない			
	4. 行っていない			
	5. 該当する業務がない			
	6. わからない			
Q7	区では、事業系ごみの適正処理や資源化の推進を通じて、資源循環型社会の構築を目指しています。 貴事業所では、ごみをどのように処理していますか【事業系ごみ関連①】	資源循環		
	1. 廃棄物処理業者に委託している			
	2. 区の収集に出している			
	3. 不明			
Q7-2	2.と答えた方に伺います。貴事業所が区の収集を利用している理由を教えてください。【事業系ごみ関連②】	資源循環		
	1. 建物所有者・管理者等に指定されているから			
	2. ごみの量が少ないから			
	3. 事業所が狭小路地に面しており、民間の収集運搬業者に収集を断られているから			
	4. ごみの排出量・収集量が少なく、民間の収集運搬業者に収集を断られているから			
	5. 契約や手続きの方法が不明だから			
	6. その他			
Q7-3	2.と答えた方に伺います。事業者のごみは業者収集による処理が原則となっていますが、貴事業所では、どのような条件であれば廃棄物処理業者への委託による収集（業者収集）への切り替えが可能ですか。【事業系ごみ関連③】	資源循環		
	1. 費用が現在よりも安くなる			
	2. 収集日・収集場所を柔軟に設定できる			
	3. 近隣で収集の実績がある業者である			
	4. 契約などの手続きが容易である			
	5. 狭小路地でも収集してくれる			
	6. 少量の排出・収集でも対応してくれる			
	7. 切り替えの考えはない			
	8. その他			
Q8	貴事業所で、現在取り組まれているごみ減量・リサイクル活動があれば教えてください。【事業系ごみ関連④】	資源循環		
	1. ごみ・資源の発生量を正確に把握し、ごみの減量に努めている			
	2. 紙資源（コピー用紙、新聞・雑誌、段ボール）の回収をリサイクル業者に依頼している			
	3. 会議資料の電子化などペーパーレス化を推進している			
	4. ごみ減量の意義・取り組みなどを従業員と共有している			
	5. 生ごみの資源・減量化（肥料化・食品ロス削減など）に取り組んでいる			
	6. マイボトル持参の奨励、給水機の設置などによるプラスチックごみの減量に取り組んでいる			
	7. その他			
Q9	貴事業所がごみ減量・リサイクル活動を進めるにあたり、どのような情報や支援が必要と思いますか【事業系ごみ関連⑤】	資源循環		
	1. 業種別・業態別などのごみ減量マニュアルの提供			
	2. ごみ減量・リサイクルに必要な収集業者や処理業者の情報提供			
	3. 事業者の特性に合わせた個別の減量相談の実施			
	4. 先進的・優良取り組み事業所の情報提供			
	5. 他の事業所等と意見交換ができる場の提供			
	6. ごみ減量・リサイクルを進めるにあたっての財政的なインセンティブ支援			
	7. 保管するスペースなどの整備などの支援			
	8. その他			

番号	設問項目	該当する目標	区民の類似設問	前回調査時に類似内容あり
Q10	事業所周辺の環境美化や、騒音・悪臭・喫煙マナーなど生活環境への配慮として貴事業所が行っていることは何ですか。（あてはまるものをすべて）	生活環境		
	1. 事務所周辺の清掃			
	2. 喫煙マナーの周知			
	3. 騒音への配慮			
	4. 悪臭対策			
	5. ごみ置き場の管理			
	6. 騒音などに関する地域への説明・配慮			
	7. 特にしていない			
	8. その他（自由記述）			
Q11	貴事業所では、従業員に対して、環境に関する研修を行っていますか。（1つ）	環境学習		
	1. 定期的に行っている			
	2. 不定期に行っている			
	3. 行っていない			
Q11-1	3.と答えた方に伺います。 貴事業所が環境に関する研修を行っていない理由は何ですか。（あてはまるものすべて）	環境学習		
	1. 時間を確保できない			
	2. 研修を行うための人員や体制が不足している			
	3. 研修に費用がかかるから（教材購入、外部講師の招聘など）			
	4. 研修の実施方法がわからない			
	5. 事業内容と環境との関わりがない、または小さい			
	6. 日常業務の中で定着しており、改めて研修を行う必要性を感じない			
	7. 環境より優先すべき経営課題がある			
	8. その他（自由記述）			
Q12	貴事業所が従業員に対する環境教育を推進するために、区からどのような働きかけや支援を望みますか。（3つまで）	環境学習		
	1. 研修に利用できる教材（動画、資料など）の提供			
	2. 低額または無料で参加できる事業所向けの研修・セミナーの開催			
	3. 事業所への講師派遣			
	4. 研修の担い手となる人材を育成するセミナーの開催			
	5. 研修実施に要する費用の助成			
	6. 他事業所の取組事例の紹介			
	7. 特に支援は必要ない			
	8. その他（自由記述）			
Q13	国は、「第六次環境基本計画」（令和６年５月閣議決定）において、単に環境保全を行うことが重要なのではなく、「環境の保全を通じて、国民一人一人の生活の質、幸福度が向上する」ことを最終目標として設定しました。 このことについて、貴事業所はどのように感じますか。	全般（課題認識・将来像）	Q13	
	1. とても共感する			
	2. ある程度共感する			
	3. あまり共感しない			
	4. 共感しない			
	5. どちらともいえない			
	6. わからない			
Q13-1	1.または2.と答えた事業所に伺います。 国が目指す方向に近づくために、区はどのような取組を進める必要があると思いますか。 貴事業所が特に重要だと思うものを１つ選んでください。	全般（課題認識・将来像）	Q13-1	
	1. 環境に配慮することが就業環境の改善につながることの周知			
	2. 環境に配慮することが、経営や経済にプラスになることにつながる取組			
	3. 補助金や融資あっせんなど、環境に配慮した事業活動への経済的支援を充実させる			
	4. 環境を守る取組を通じて、地域とのつながりや人々が支え合う機会を増やす			
	5. 環境・防災・健康・地域づくりなどを一体的に進め、地域における安心や豊かさを高め			
	6. 自然とのふれあいを通じた健康増進			
	7. 経営者や従業員が環境問題について学べる場や機会を増やす			
	8. わからない			
	9. その他（自由記述）			
Q14	貴事業所が、新宿区の10年後の環境像に望むことや、区に特に力を入れてほしいことを自由にお書きください。	全般（課題認識・将来像）	Q14	

本票は調査票の形式ではありませんが、同一の内容を、調査票の形式に記載します。
なお、調査票には、語句の説明等の補足を記載予定です。